

区政Now！（令和3年3月号）

～令和3年度予算案特集号～

区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

区政Now



この度、令和3年度の予算案がまとまりました。令和3年度の一般会計予算案の総額は、約1,060億円となりました。この予算案は、「区民の安心と元気を育む 幸福実感予算」として、新型コロナウイルス感染症をはじめ、区民の暮らしの安全・安心を確保する取り組みを土台に据え、次代を担う子ども達を育成する取り組みや、街に賑わいをもたらす取り組み等、区政の重要課題に積極的かつ効果的に予算を配分しました。今号では3月1日発行の区報とあわせて主要事業の一部を紹介いたします。

今後とも、区民サービスの更なる充実に向けて、全力で取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策（13億6,465万円）

現在、区民を対象にしたワクチン接種を4月中旬（予定）から速やかに開始できるよう準備を進めています。最初の対象者である65歳以上の方には、接種券（クーポン券）を、4月上旬から、順次発送する予定です。なお、国の動向により、日程等は変動することがあります。詳しい情報は、荒川区ワクチン特設HP（右面の二次元バーコード）や区報等でお知らせいたします。



ワクチン特設HP

入院治療を必要とする陽性患者が確実に病院に受け入れられるように、関係医療機関と連携して病床を確保するとともに、発熱患者等に対応する医療機関への支援を継続して実施します。

在宅の高齢者や障がい者を介護する家族等が罹患した場合に、その濃厚接触者となった要介護者が、緊急一時的に入所できる施設を確保するほか、在宅介護を希望される場合は、介護・看護事業所職員を派遣する体制を引き続き確保します。

災害時の被害軽減に向けた施設整備（2億240万円）

大規模震災時にも枯渇することのない水源を消火用水として活用するため、第四峡田小学校に永久水利の施設を整備します。

災害時の地域防災活動を支援する広場（防災スポット）を新たに2か所整備し、災害時の地域内での初期消火及び救助活動を支援するとともに、日常の憩いの場を提供することで、地域の安全性と住環境の向上に取り組みます。

災害対策の充実・強化（3億1,803万円）

「荒川区防災アプリ」をリニューアルするなど、災害時の緊急情報等をリアルタイム配信できる情報伝達手段を充実・強化することにより、災害時における区民の情報収集を支援します。

ソーラー充電が可能な蓄電池や乳幼児用液体ミルク、携帯トイレ等、避難所の資機材や物資の充実・強化を図ります。

待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大（7億3,001万円）

新たな保育園を令和3年4月に2園、4年度までに3園開設するなど、300人超の保育定員を拡大します。

主な事業

児童養護施設の整備（1億5,310万円）

令和5年度の開設に向けて、荒川8丁目の区有地に児童養護施設を誘致し整備を行います。

ふれあい館の整備（16億2,753万円）

区では、乳幼児から高齢者まで幅広い世代が活動・交流できる地域コミュニティ施設「ふれあい館」を整備しています。新たに東尾久地域に「東尾久本町通りふれあい館」、日暮里地域に「ひぐらしふれあい館」を令和4年度に開設するため、引き続き建設工事等を行います。

ふれあい館は、文化活動からスポーツ活動まで、幅広い活動の場を提供するほか、ミニ備蓄倉庫を設置し、災害時には地域の高齢者や配慮を要する方々の二次避難所として活用します。



東尾久本町通りふれあい館イメージ図



ひぐらしふれあい館イメージ図

町屋文化センターのリニューアル改修工事 （1億7,833万円）

令和3年度後期より町屋文化センターのリニューアルを実施します。

展示会等に活用しやすくするため、ふれあい広場の照明をLED化するほか、一息つける空間として飲食スペースや街なか図書館を設置します。また、四季折々の絵が映し出される床面プロジェクション、自由に絵が描ける黒板の壁、絵画のような写真が撮れるフォトスポットなどを新たに設置します。

荒川遊園リニューアル（18億5,067万円）

都内唯一の公営遊園地である荒川遊園を、さらに利用しやすく魅力的な施設へとリニューアルし、令和4年春からオープンします。

園内にはスケルトンのゴンドラを備えた高さ40mの観覧車、的に向かって放水して得点を競うウォーターシューティングライド、室内遊び場を新たに整備します。メリーゴーランドや豆汽車なども新しくするほか、観覧車のライトアップやイルミネーションにより、夜を彩る光の演出を行います。また、都電「一球さん号」をカフェスペースにします。

宮前公園の整備（7億8,872万円）

尾久地区の隅田川沿いに2.5ヘクタールの宮前公園を整備し、令和3年4月から順次開園します。バラのアーチ等を活用した立体感のあるガーデンエリアや広い芝生広場が楽しめるほか、令和4年度開園予定のエリアには、スイレン池やテニスコート等を整備する予定です。また、災害時には、避難場所や避難路、延焼遮断帯として機能します。

すでに公園内保育園を開園し、令和3年2月には、リニューアルした尾久図書館を先行オープンしました。今後も多様な楽しみ方ができる公園として整備を進めます。

新たな日常によるにぎわいの創出（2,004万円）

区内最大のイベント「川の手荒川まつり」をオンラインで開催します。特設サイトでは、川の手荒川まつりで人気のイベント「ミニ隅田川」や「WANTED」などオンラインで楽しめるゲームや、区民団体によるステージ動画を配信します。その他にも、交流都市の特産品が購入できるサイトもご紹介します。